

世界湖沼の日 制定記念

参加
無料

琵琶湖とともに 生きる未来を 考えるフォーラム

過去から今、そして未来へ

滋賀県の提唱から制定された「世界湖沼の日」。
琵琶湖の環境保全に取り組んできた先人たちと今の企業・学生等をつなぎ、
よりよい湖沼の未来について語り合います。

2026 2.6 金

時間 14:00 ▶ 16:30 (開場13:30)

会場 栗東芸術文化会館SAKIRA 中ホール
〒520-3031 滋賀県栗東市縄2丁目1-28

定員 300名

Program プログラム

- 14:00～ オープニング
- 14:10～ 話題提供
- 14:45～ パネルディスカッション
ポストSDGs・MLGs、琵琶湖とともに生きる未来
について考える～過去から今、そして未来へ～
- 16:00～ ブースセッション



Mother Lake
Goals

変えよう、あなたと私から

Application 参加申込み

締切 令和8年2月2日(月)
※当日会場受付も可能。

事前
お申込みは
こちら



※ただし、定員に達した場合はお断りする場合がありますのであらかじめご承知おください。

主催 滋賀県

協力:びわ湖放送株式会社

問い合わせはこちら

滋賀県 琵琶湖環境部
琵琶湖保全再生課 水政策係

TEL 077-528-3466

メールアドレス dk00@pref.shiga.lg.jp

琵琶湖をはじめ世界中の湖が、環境問題や気候変動など、さまざまな課題に直面しています。

このフォーラムでは、「世界湖沼の日」制定をきっかけに、琵琶湖のこれまでとこれからを学びながら、「自分たちに何ができるんだろう?」を、同世代やゲストと一緒に考えます。

環境の専門知識がなくても大丈夫。話を聞いて、感じて、ちょっと考える。そんな気軽な一歩が、湖の未来につながります。



Panel discussion パネルディスカッション

ポストSDGs・MLGs、琵琶湖とともに生きる未来について考える
～過去から今、そして未来へ～

／司会進行／



びわ湖放送
『金曜オモロしが』
アシスタント

岡山 瞳

登壇者

企業や学生、環境保全に取り組んできた方々をお呼びし、
琵琶湖とともに生きる未来について、過去を振り返り、今を見つめて、話し合います。

生き物系YouTuber マーシー

チャンネル登録者数約45万人。
琵琶湖を拠点に川で生態系保全
やゴミ拾いしつつガサガサ
(魚捕り)、釣り、投網、
スピアフィッシング、
狩猟等をする動画を
配信している。



滋賀県知事
三日月 大造



NPO法人NELIS
代表理事
ピーター・D・ピーダーセン



たねやグループ執行役員
経営本部 本部長
小玉 恵



辻プラスチック株式会社
取締役
辻 喜勝



菜の花プロジェクト
ネットワーク 元代表
藤井 絢子



山門水源の森を次の世代に
引き継ぐ会 元事務局長
藤本 秀弘



マキノ自然観察倶楽部
代表
谷口 良一



夢・びわ湖 代表
辻 ひとみ

「令和7年度琵琶湖総合保全レガシー継承事業」に
ついての特別番組を、右記の日時で放送します。
番組内ではこのイベントの様子も紹介されます。

琵琶湖を、未来へ。(仮題)

【放送日時】令和8年3月15日(日)12:00~12:30



ブース出展企業・団体を募集しています!

※琵琶湖をはじめとする湖沼やそれを取り巻く自然の保全に向けた取組を行っている企業・団体が対象。

募集概要

- ①展示時間|14:00~16:30
※展示ブースでの交流は16:00~16:30の間。
- ②募集企業・団体数|20程度
- ③出展料|無料
- ④場所|中ホール前 ホワイエ

- ⑤1ブースあたりの大きさ|横幅1.8m
※ブースの大きさは出展申込状況により変更となる可能性があります。予め御承ください。
※無料貸出|テーブル1台(幅180cm:奥行45cm)、企業・団体名を記載したプレート(紙で作成)。
- ⑥出展申込期限|令和8年1月23日(金)
※搬入・設営時間、ブース配置等の詳細は、後日、事務局より連絡いたします。

お申込みは
こちら



出展に関する
問い合わせ

びわ湖放送株式会社
総合メディア企画部

TEL 077-524-0153
メールアドレス mirai_lake@bbc-tv.co.jp (平日9:00~17:30)